

夏の夜はまだ宵ながら明けぬるを雲のいづこに月やさるるむ深養文(古今166)

夏の夜は  
夏の夜は  
夏の夜は  
夏の夜は  
夏の夜は

那が  
可が  
希け  
明  
解ぬ  
希け  
明  
希け  
明  
希け

久く  
も  
耳に  
耳に

月  
月  
月  
月  
月